



KAGOSHIMA Y'S MEN'S CLUB



No.340 2018

鹿児島ワイズメンズクラブ

10

月号

- | | | |
|--------|-------------------------|--|
| 国際会長 | : Moon Sang Bong [韓国] | Yes, we can change. 「私たちは変えられる」 |
| アジア会長 | : 田中博之 [東京多摩みなみ] | Action 「アクション」 |
| 西日本区理事 | : 遠藤通寛 [大阪泉北] | Let's Protect and Cultivate What Should Be Passed on to the Future.
「未来に残すべきものを守り育てる」 |
| 九州部部长 | : 上村真智子 [熊本ジェーンズ] | Let's become the Y's Men to convey the charm
of Y's, the power of Y's, the activities of Y's.
「ワイズの魅力を、ワイズの力を、ワイズ活動を伝えるワイズメンになろう!」 |



鹿児島クラブ会長 松永 英明

「楽しもう鹿児島クラブ! 輝こう鹿児島クラブ!!」

六甲部部会報告

第17回六甲部部会が、9月22日(土)に神戸YMCA三宮会館チャペルで開催され参加して来ました。九州部部会以外の部会に参加するのは初めてで、不安もありましたが、素敵な出会いがたくさんあり有意義な時間を過ごすことができました。

第1部は、大田厚三郎六甲部部長の開会点鐘で始まりました。まず、8クラブのバナーセレモニーがあり、その中に、以前鹿児島クラブに在籍していました田辺さんのお姿もありました。現在は神戸学園都市クラブに在籍しています。基調講演は「ワイズメンズクラブとYMCA ～ウエルネスから再考～」と題して、現在神戸常盤大学客員教授 柳敏晴氏の講演がありました。実は、今回訪問の目的の1つが柳さんにお会いすることでした。柳さんは、鹿屋体育大学大学院教授時代に鹿児島クラブに在籍していたということで再来年の30周年に是非呼びたいと思い、ご挨拶だけでもと思いましたが、ご多用でお声かけをすることができませんでした。次に「西日本区ビジョンと基本計画」と題して、ワイズ将来構想特別委員会委員長の森田恵三氏から報告がありました。

懇親会は、場所をホテル北野プラザ六甲荘に移し行われました。まず、濱地智枝さんによる和琴の演奏があり、次期西日本区戸所岩雄理事の乾杯でスタートしました。ここで、やっと本年度よりDBCをさせていただいている宝塚クラブの皆様と名刺交換をさせていただき、短い時間ではございましたが、親睦を深めることができました。感謝、感謝の六甲部部会でした。

最後にひとつご案内です。12月に「第14回チャリティー市民クリスマス キャロルを歌う夕べ」が宝塚クラブの主催で開催されます。お時間がありましたら是非参加してはいかがでしょうか。

松永 英明



TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT

会長通信

鹿児島クラブ会長 松永 英明

04

楽しもう鹿児島クラブ! 輝こう鹿児島クラブ!

気持ちのいい朝夕を迎える季節になりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。日頃のワイズダムへのご奉仕に心より感謝申し上げます。

9月の例会は、鹿児島YMCAの内村桃子さんをお迎えしまして「YMCA事業活動報告」をしていただきました。企画が盛り沢山で幅広い分野の内容で少数ながらもアイデア満載で報告を聞いているだけでウキウキワクワクするものでした。改めて、感謝するとともに、クラブにとって今後の方向性のヒントをいただ

きました。ありがとうございました。YMCAのスタッフの皆様には、現状と今後のことについてワイズの皆様とお話をする機会をいただきと思っています。短い時間ではございますが、テーマを厳選しまして臨みたいと思います。よろしくお願い致します。

今月15日月曜日に、久しぶりに八代クラブの例会に参加してきました。今回は、守田会長がドローンをされているということで、自分も以前からドローンに興味があり勉強をさせていただきたいと思いお伺いさせていただいた次第です。

「ドローンを南極で飛ばす。九州で飛ばす。」と題して、KKTイノベートドローン事業部副部長、九州ドローンスクール校長の中田浩毅氏にドローンの役割、可能性、そして一番大切な規制についてドローンを通して南極の魅力、役割について卓話をさせていただきました。八代クラブの皆様ありがとうございました。

今月の例会は、東さつき氏をお迎えしまして、「鹿児島県をコーヒーの生産地にする挑戦」と題して卓話をさせていただきます。今後の活動にも大変お役に立てるお話をさせていただけると思います。

理事通信

西日本区理事 遠藤 通寛

04

未来に残すべきものを守り育てる

■台湾区から平成30年7月豪雨の支援として、3,046,000円が贈られてきました。

台湾の友人からの皆様から多額の支援金をお預かりいたしました。本当に感謝しております。また、西日本区の各クラブより豪雨災害支援金が届いております。皆様有難うございます。今年は台風のい上陸が多く各地に災害をもたらしました。台風21号では大阪市内でも強風が吹き、御堂筋のイチョウ並木の沢山倒れました。9月23日に第28回アジア太平洋地域大会の打ち合わせに、仙台かに向かう所、関西空港を利用しましたが、連絡網が途中で途切れ空がぽっかりと見えておりました。今また台風が日本に接近しております。皆様嚴重にご用心ください。

■新しいクラブが熊本に誕生いたしました。

大変嬉しいニュースです。9月1日九州部会に於いて熊本五福クラブの素晴らしいチャーターナイトが開催されました。国際協会加盟認証状が、東 菜保子会長に手渡されました。スポンサークラブの熊本にしクラブの皆様のお働きに感謝申し上げます。

■中部に新しいクラブが誕生予定

またまた嬉しいニュースです。中部の富山にてクラブ設立の準備が着々と進んでおります。設立総会は2019年2月10日、チャーターナイトは2019年5月11日を予定されています。詳細は理事通信11月号には掲載できるものと思います。皆様お祝いに駆けつけようではありませんか!!

■北海道東部地震で被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

9月6日に北海道胆振地区を中心に激震が発生し、大変な災害をもたらしました。大停電も発生し多くの人々が苦難を強いられました。

台風21号で関西地区も広範囲に停電が生じ不自由な生活をされた方が多くいます。一日でも早い復旧をお祈り申し上げます。

■各部に於いて素晴らしい部会が開催されております。

まだ登録が間に合うようでしたら、是非参加してみましょう。部会参加の折、新しいクラブの設立をお願いしております。新しいクラブが誕生するには時間が必要です。今から準備を始めましょう。2年3年後には新しいクラブが仲間入りすることでしょう。一緒に夢を見、そして実現しましょう。

■部会と共にメネットアワー、メネットの集いが開催されています。

九州部部会、京都部部会、阪和部部会、六甲部部会においてメネットアワー、メネットの集いが、各メネット主査の皆様の働きにより開催されました。国内プロジェクトの理解を深めるため、また命を守るための取り組みなど大変有意義な学びの場所となりました。参加された方々がそれぞれのクラブに持ち帰り、クラブ活動の中に取りいれたら幸いに思います。

10 企画例会報告

Planning meeting report

日 時：平成 30 年 10 月 9 日 火曜日
 19:00~21:00
 場 所：ロイヤルホスト
 出席者：神村、中堀、園屋、
 徳田、松若、松永

9 定例会報告

Regular meeting report

日 時：平成 30 年 9 月 28 日 火曜日
 場 所：ジェイドガーデンパレス
 出席者：10 名
 司会者：榎脇ワイズ

9 月例会の記録	クラブ在籍者	14名
	出席者	10名
	メネット	0名
	ゲスト	0名
	ビジター	0名
	メイクアップ	0名
	9月出席率	71.4%

今月の樹



柿

カキノキ（柿の木）は、カキノキ科の1種の落葉樹である。東アジアの固有種で、特に長江流域に自生している。熟した果実は食用とされ、幹は家具材として用いられる。葉は茶の代わりとして加工され飲まれることがある。果実はタンニンを多く含み、柿渋は防腐剤として用いられる。現在では世界中の温暖な地域（渋柿は寒冷地）で果樹として栽培されている。黒色の縞や柄が生じ、部分的に黒色となった材をクロガキと呼ばれて珍重されるが、産出量が極めて少ない銘木中の銘木である。雌雄同株であり、雌花は点々と離れて1か所に1つ黄白色のものが咲き、柱頭が4つに分かれた雌しべがあり、周辺には痕跡的な雄しべがある。雄花はたくさん集まって付き、雌花よりも小さい。日本では5月の終わり頃から6月にかけて白黄色の地味な花をつける。果実は柿（かき）と呼ばれ、秋に橙色に熟す。枝は人の手加えられないまま放って置かれると、自重で折れてしまうこともあり、折れやすい木として認知されている。 ウィキペディア参照



9月合計金額 **¥5,350**

2018

10月の聖句

女が子供を産むときには、その時が来たので苦しみます。しかし、子を産んでしまうと、ひとりの人が世に生まれた喜びのために、もはやその激しい苦痛を忘れてしまいます。あなたがたにも、今は悲しみがあるが、わたしはもう一度あなたがたに会います。そうすれば、あなたがたの心は喜びに満たされます。そして、その喜びをあなたがたから奪い去る者はありません。

ヨハネ福音書16-21~22 （わたし=イエス・キリスト）

鹿兒島ワイズメンズクラブ

チャータ 1990年2月12日
 事務所 〒890-0056
 鹿兒島県鹿兒島市下荒田3丁目43-7 1F
 鹿兒島 YMCA 内
 定例会 毎月第4火曜日 場所：ジェイドガーデンパレス
 企画例会 毎月第2火曜日 場所：珈琲館かみむら
 （時間は企画例会・定例会とも19:00~21:00まで）

11月 企画例会
 日 時：11/13 (火) 19:00~21:00
 場 所：旧かみむら珈琲館

11月 定例会
 日 時：11/27 (火) 19:00~21:00
 場 所：ジェイドガーデンパレス

YMCA事業活動報告

第9回 鹿児島YMCA インターナショナル・チャリティーラン

いよいよ、来月に迫りました第9回鹿児島YMCAインターナショナル・チャリティーラン2018は11月17日(土)吉野公園運動芝生広場に開催されます。YMCAが立ち上がって記念すべき最初のイベント、鹿児島ワイズメンズクラブの方々と手を取り合い大事に育ててきたイベントは早いもので9回目を迎えます。

YMCAインターナショナル・チャリティーランは、参加費で障がいのある子どもたちを支援するとともに、“障がい”への社会的な理解と関心を高めることを目的とした駅伝大会です。

チャック・ウイルソンさんが提唱し、1987年、YMCA国際賛助会(FCSC)の主催により、東京で開催され、その後全国に広まりました。“ラブ・オン・ザ・ラン”をスローガンに、現在では全国20ヶ所のYMCAで、14,000人以上のランナー・ボランティアが参加するイベントになりました。

YMCAは、障がいのある子どもたちに、社会参加の機会を増やし、自信をもって心豊かに楽しい生活が送れるよう、様々なプログラムを提供しています。プログラムの実施には、場合によってはマンツーマンでサポートするボランティアが必要で、設備などにも特別な配慮が必要なため、一人当たりが必要となる費用が高額になります。また、ボランティアのトレーニング費用も必要です。みなさまからのご支援は、こうした費用を補い、プログラムの実施を可能にします。そして障がいのある子どもたちと、その家庭や地域を共に支えることになります。

今年は、障害に対する理解を深めることを念頭におき、目隠しをして伴走者とともに走る「ブラインドラン」を体験会のみならず競技の中にも加えることになりました。数あるランニングイベントの中でも独自性とテーマ性を強く打ち出し、社会の中でも意義のあるランニングイベントとなるよう、来年の第10回につながるような取り組みをしております。

昨年、一昨年と福岡や熊本のワイズメンたちも参加し大会を盛り上げてくれました。今年の大会も鹿児島ワイズメンズクラブとともに成功をおさめ、障がい児支援につながる活動にしていきたいと思いますので、ランナーまたはボランティアとしてのご参加をお待ちしております。

